



力士埴輪の復元図

出雲の埴輪



王陵系埴輪の受容とその終焉

河内一浩(前 羽曳野市教育委員会)

1. はじめに-出雲の埴輪

埴輪は古墳の出現とともに3世紀後半から製作が始まる
→吉備で発達した特殊器台形土器の系譜をもつもの
(畿内においても少数、地域や古墳ごとに異なっている)
出雲地方→神原神社古墳。大成古墳など

2. 王陵系埴輪とは

古市・百舌鳥古墳群の埴輪を典型とする一群
4世紀後半に斉一的な鱗付き円筒形埴輪が該当する
出雲地域では…上野1号墳 廻田(さこだ)1号墳 堂山1号墳
B種ヨコハケの出現以前
出雲では…大垣大塚1号墳 五反田1号墳 ※無黒斑の円筒形埴輪
B種ヨコハケ 清水1号墳 水溜5号墳 ※無黒斑の円筒形埴輪

3. 王陵系埴輪の展開

【誉田御廟山型円筒形埴輪】

7条突帯8段 無黒斑 等間隔の突帯 貼付口縁 B c種ヨコハケ
出雲の窖窯焼成の埴輪の出現(平所遺跡埴輪窯跡)
石屋古墳の形象埴輪 ※B c種ヨコハケをもつ円筒形埴輪と伴う
一辺40mの方墳 幅10mの周壕 方形造出 形象埴輪群

力士 倚座人物 武人 馬

4. 王陵系埴輪の終焉

王陵系埴輪の出雲の地域色への移行→王陵系埴輪の終焉
※畿内の埴輪編年で位置づけることが困難
ヨコハケの省略 底部調整の出現 2条突帯3段構成
※底部の端部を切削する再調整→井ノ奥4号墳
出雲を中心に地域的な底部調整の埴輪が首長墓に広く採用される

5. まとめにかえて

出雲地域の首長墓築造にあたり畿内との直接的な関係性をもつことが理解できる
 地域の個性(在地色)顕在化することにより出雲の独自性が見えてくる
 出雲東部の優位性からより広い出雲に拡大していく

【参考文献】

- 島根県古代文化センター2019「おわりに 出雲・石見・隠岐の首長権の展開と地域社会構造」『国家形成期の首長権と地域社会構造』
- 田中 大 2015「出雲地域における中期円筒埴輪の時間的位置づけ」『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』
- 椿 真治 2008「出雲東部地域における埴輪出土古墳・中期後半を中心として」『古代文化』VOL. 59
- 椿 真治 2015「岩屋古墳出土埴輪の復元整理作業報告」『前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究』

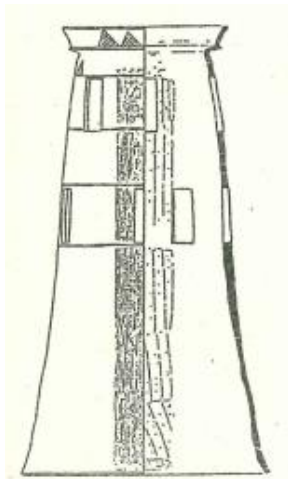


図1 神原神社古墳器台土器

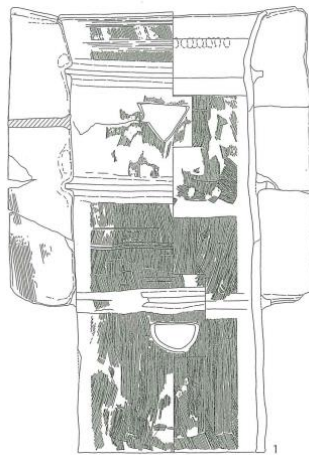


図2 上野1号墳鍔付円筒形埴輪

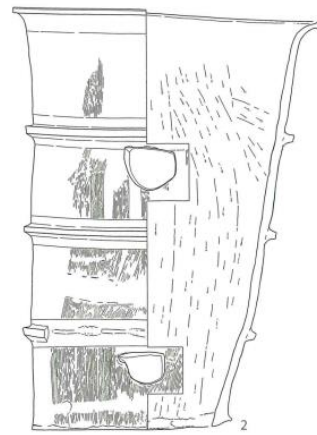


図3 大垣大塚1号墳円筒形埴輪

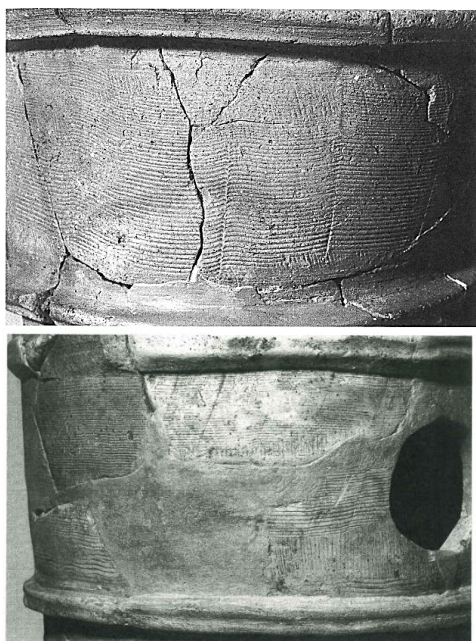


写真1 B種ヨコハケ(田中 2015 より)

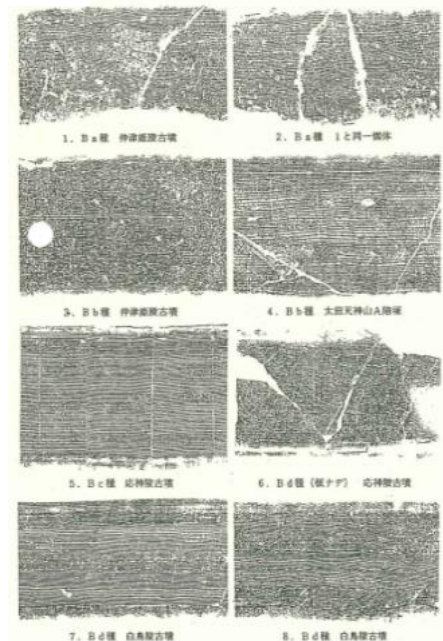


図4 B種ヨコハケの種類

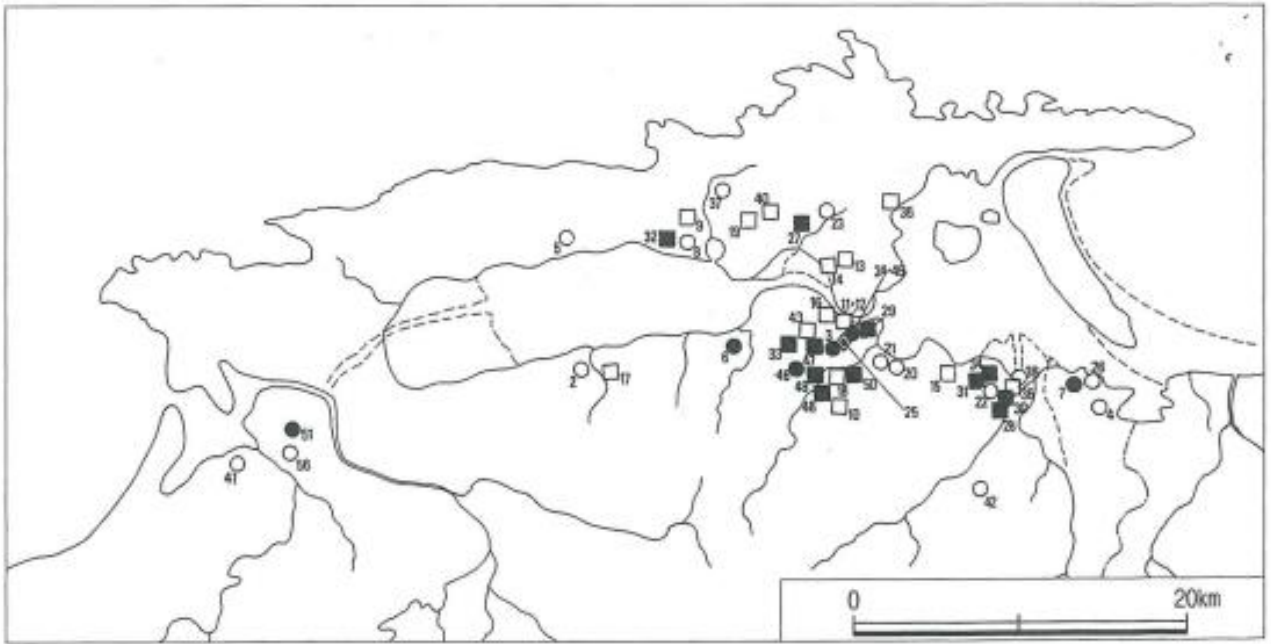


図5 主要埴輪出土古墳位置図(椿 2008 より)

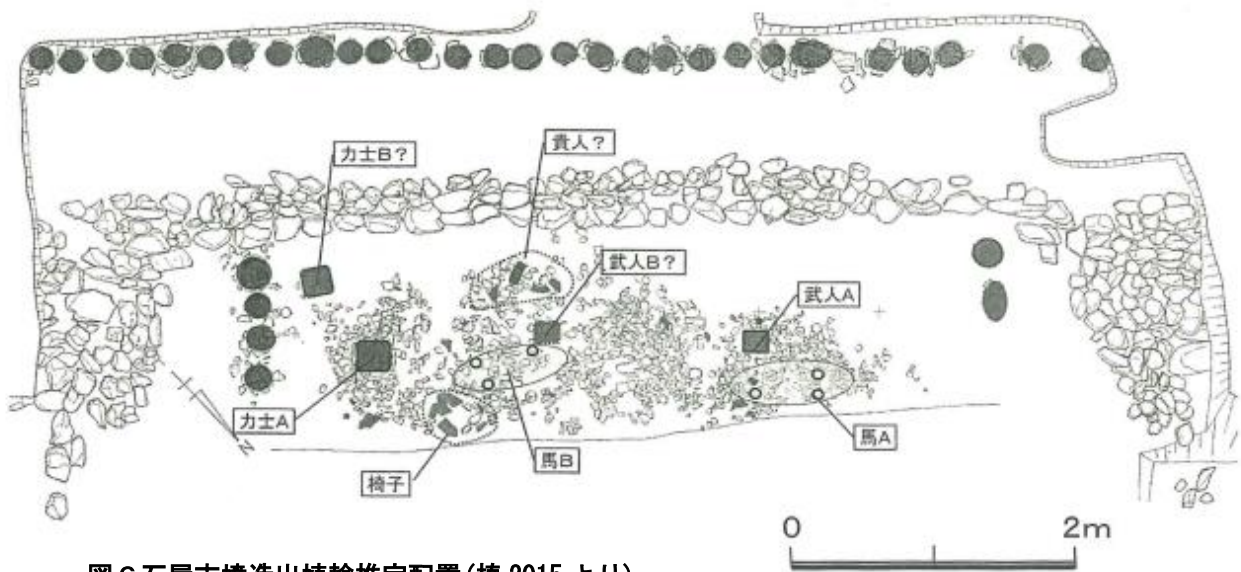


図6 石屋古墳造出埴輪推定配置(椿 2015 より)

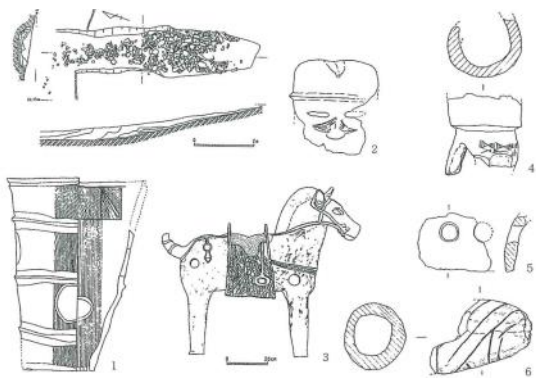


図7 平所遺跡埴輪窯出土埴輪

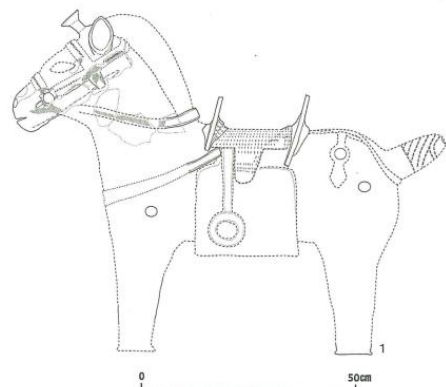


図8 石屋古墳出土馬形埴輪

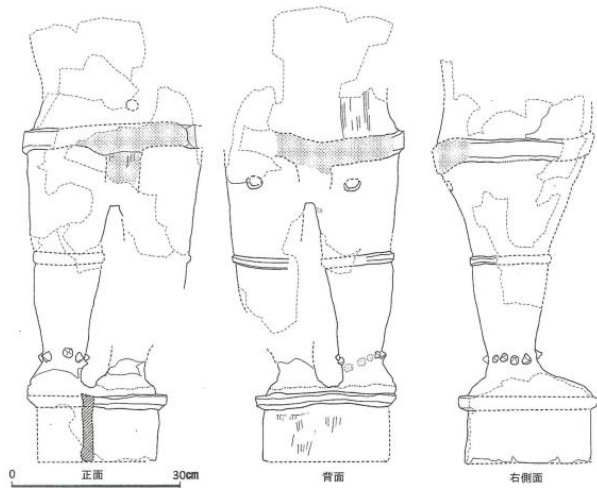


図9 石屋古墳出土力士埴輪

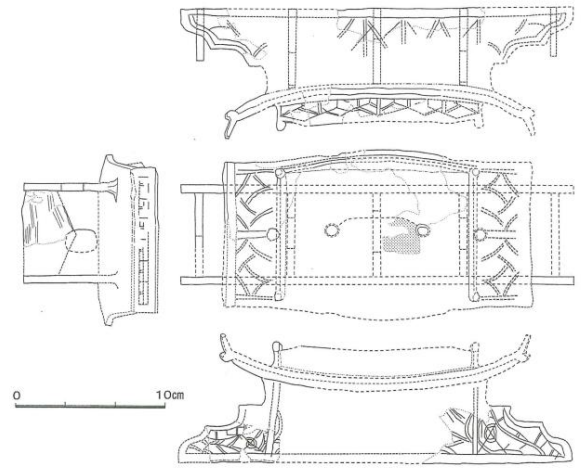


図10 石屋古墳出土倚座人物埴輪



図11 石屋古墳出土武人埴輪

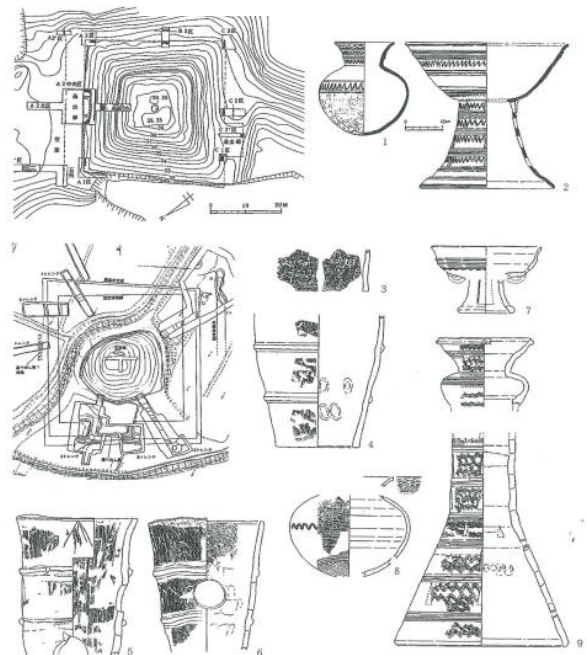


図12 古墳時代中期の古墳と須恵器・埴輪

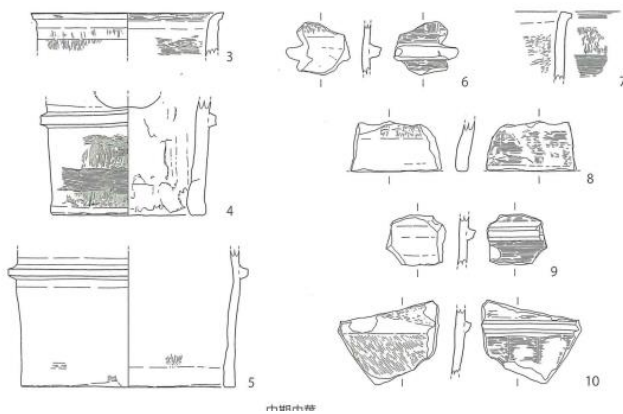


図13 古墳時代中期中葉の円筒形埴輪

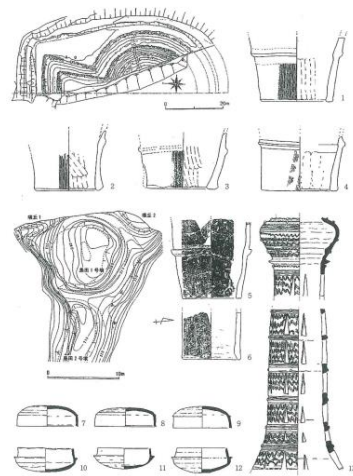


図14 古墳時代中期の古墳と須恵器・埴輪

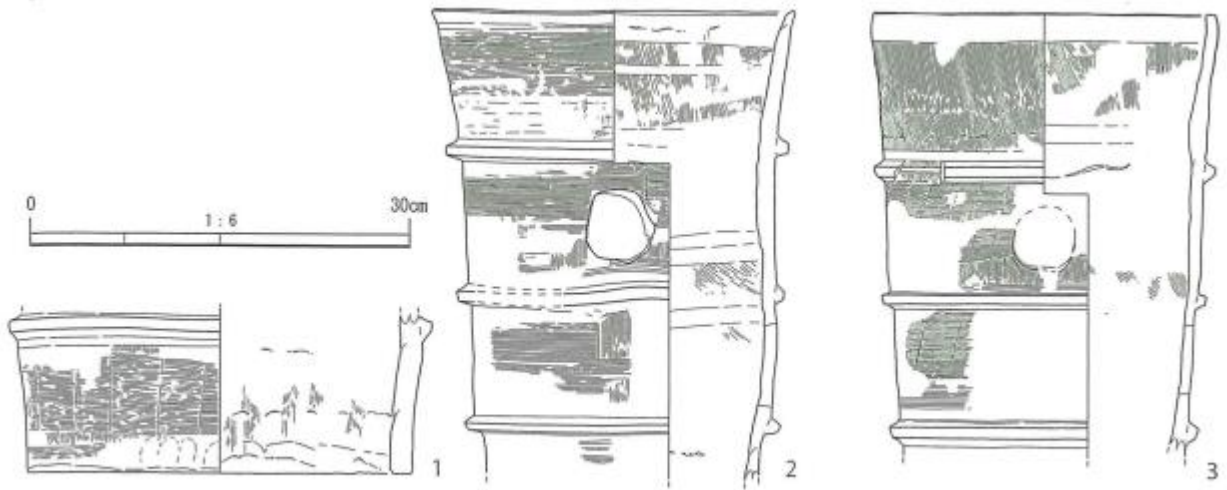


図 15 古墳時代中期後葉の円筒形埴輪

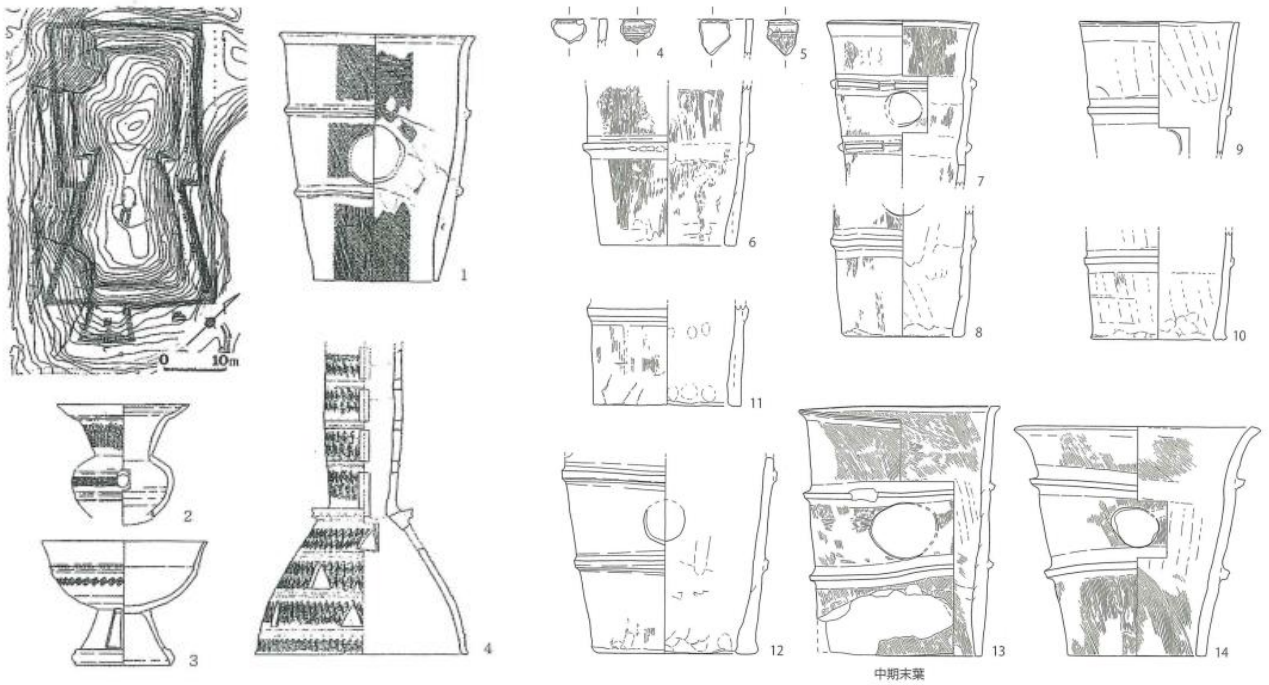


図 16 古墳時代中期の古墳と須恵器・埴輪

図 17 古墳時代中期末葉の円筒形埴輪